

令和 6 年度

(2024 年度)

事業報告書

自 令和 6 年 4 月 1 日

至 令和 7 年 3 月 31 日

公益財団法人 ノーマライゼーション住宅財団

令和 6 年度 事業報告書

【令和 6 年度の環境認識】

当財団は、平成元年 10 月に設立し今年で 36 年目を迎え、公益認定移行後において 13 年が経過しました。コロナ禍が終息し、DX 推進や新しい生活様式がスタンダードとなり、社会経済の回復と正常化に向かっている反面、円安や物価高騰により、日常生活への不安感も増大しております。当財団の事業活動においては、新理事長の下、次のフェーズへと歩みはじめたところですが、時流に応じた変化をしながら事業展開を今後とも推進してまいります。

【基本方針】

当財団は、「すべての人が共に暮らし共に生きることがノーマル（正常）である」というノーマライゼーション理念に基づき、高齢者や障がい者が安全で安心して暮らせる住生活環境の整備・向上を通して、すべての人が生きがいをもって生活できる社会作りと社会福祉の増進に寄与することを目的とする。

〈事業報告〉

I. 福祉住宅支援事業（公益目的事業 1）

（1）助成金による福祉住宅建築支援

高齢者や障がい者が安心して、快適に暮らすことのできる福祉住宅及び福祉小規模集合住宅（以下「福祉住宅」という）の向上・普及を目指し、今年度まで 36 年間、同事業を継続して支援を行っております。

令和 6 年度は、建築助成事業として福祉住宅の新築及びリフォームを行った建築主を対象とする「バリアフリー建築助成」の公募を行った結果、7 件申請がありました。今回で審査委員長 2 回目となる北海道科学大学福島名誉教授、大阪理事、高棹評議員の他、外部審査委員を含む 8 名の有識者にて審査委員会を実施し、建築助成選考基準に則り厳正な審査を行った結果、助成金の予算総額 300 万円のところ、今回は 7 名 165 万円、累計 8,902 万円を施主様へ支給しました。

広報活動の展開としましては、北海道新聞社の取材対応により新聞掲載をいただいております。

(2) 情報誌「ふれあい」の刊行

情報誌「ふれあい」は福祉住宅支援事業の一環として毎年継続しております。コロナ禍明けの状況ではありましたが、マスク着用等の配慮で取材を受けていただきました。情報誌「ふれあい」は、福祉住宅建築助成対象のバリアフリー住宅について、日常生活や介護の為にリフォームや新築住宅の実例等を数多く掲載し、年1回（2,500部）を発行しております。

情報誌は賛助会員の皆様をはじめ、各地方自治体や社会福祉協議会、北海道難病連、教育研究機関や福祉団体等の関係先に広く無料配布しております。

また、講演会やセミナーでの参考資料として、他方では病院・リハビリテーションの理学療法士の方々への資料として提供し、多くの皆様のお役に立っております。

広報活動としましては、毎月1回コミュニティ放送局 FM アップル「バリアフリートーク」において、福祉住宅・バリアフリー住宅の情報提供と、リスナープレゼントとして「ふれあい」や「ふれあい総集編」を進呈し、幅広くアピールし活用しております。

Ⅱ. ノーマライゼーション啓発事業（公益目的事業2）

(1) 小中学生による「安全・快適アイディア」コンテストの実施

令和6年度で29回目となるコンテストは、高齢者や障がい者が家庭内はもとより外出先においても快適な環境で生活ができることを目的として、全道の小中学生児童を対象に作品を募集したところ、小学校の部は応募数432名、中学校の部は743名の応募があり、合計1,175名（累計16,797名）の参加となりました。昨年の727名から大幅に応募総数がアップ、過去最高の応募作品数となりコロナ禍明けの学校対応及び児童の関心の高さと推測しております。

今後とも一段と少子化の進行等、小中学校の統廃合の動向を鑑み、全道の小中学校への広報展開として、新学期が始まる時期のポスター・応募要項等が届く様に一斉に郵送し、学校長・新任・美術担当の先生に対して協力をお願いしてまいります。

令和6年度は審査委員長の大阪理事に2日間かけて第一次審査をお願いし、伊藤評議員、高棹評議員をはじめ外部審査委員を含む7名の有識者審査委員会を実施し、審査選考基準に則り、厳正な審査の結果54名の児童に各賞を決定しました。なお、受賞作品は札幌地下街「オーロラコーナー」で3日間の展示を行いました。その後、全小中学校に作品の返還と結果発表報告を行い、多くの児童に福祉の関心を持っていたと同時に、より多くの方々に福祉啓発事業の認知をいただきました。

広報活動としては、ホームページと「ウィズライフ」の掲載、北海道テレビ放送ニュース番組での紹介、北海道新聞社の取材記事として新聞掲載をいただきました。

(2) 広報誌「ウィズライフ（共に生きる）」の刊行

ノーマライゼーションの実践・推進をされている方々の対談や具体例の他、福祉機器や設備等の役立つ関連情報を紹介する広報誌を年 2 回、5,000 部（2 回×2,500 部）発行しました。事例集「ふれあい」と同様、賛助会員皆様をはじめ、地方自治体や社会福祉協議会、北海道難病連、教育研究機関や福祉団体等の関係先に幅広く配布を行い、講演会等の資料として参加者皆様に数多く役立つことができました。

令和 6 年度「ウィズライフ第 60 号」から編集チームが新体制となり、表紙を含めた誌面全般が刷新され、内容の更なる充実を図りました。また、節目の 60 号より寒地建築の技術研究の第一人者である北海道科学大学の福島名誉教授と、北海道建築指導センター一級建築士の東住宅相談員の新連載がスタートしました。

今後とも、コロナ禍後の新しい生活様式にマッチした、福祉に携わる方々の様々な情報をタイムリーに取り上げ、ノーマライゼーションの啓蒙普及の一助として、福祉関連に役立つ情報等を紹介してまいります。

(3) 福祉事情の視察研修

当財団が設立以来例年実施をしてまいりました福祉視察研修は、受け入れ企業側のご厚意もあり 7 年ぶりにコロナ禍後のトライアルとして実施することが出来ました。今回、研修報告書として取りまとめ発行もしましたが、今後とも継続事業としていく為には、福祉施設利用者様の健康面に充分配慮した少人数での新しい生活様式に合致した国内計画実施として当面活動してまいります。

今後とも関係行政機関等と連携を図り、訪問可能な福祉施設等の視察先をご紹介します。ただき広い見地から企画検討してまいります。

Ⅲ. 拠出金・協賛金・セミナー事業（福祉関連事業への取り組み）

諸福祉団体と共に社会福祉に取り組む一環として、例年同様、令和 6 年度も「日本赤十字社」への寄付をはじめ、「国境なき医師団」、「北海道難病連」への募金、「北海道盲導犬協会」への寄付を継続すると共に、各広告支援等を行いました。

また、北海道社会福祉協議会及び札幌市社会福祉協議会で開催された各種セミナー等にて広報誌と事例集をご活用いただいております。更には関係福祉機関等との連携から福祉全般の情報提供とバリアフリー住宅普及を目的とした、オンラインセミナーの企画を検討してまいります。

IV. その他

福祉住宅支援事業・ノーマライゼーション啓発事業を推進する為、地下街の札幌市公共施設にてチラシを配置し配布しております。また、札幌市広報部の地下鉄駅公共事業掲示「ふれあいインフォメーション」15箇所への福祉ポスター広報掲示を継続しております。

その他、一般紙、地方紙、業界紙によるパブリシティ紹介記事の掲載に努めると共に、コミュニティラジオ「FM アップル」において毎月1回ノーマライゼーション住宅財団の事業内容と、事例集「ふれあい」や広報誌「ウィズライフ」の内容から福祉関連の具体例を紹介する等、パーソナリティとの「バリアフリートーク」として広報及び情報提供に努め継続しております。

V. 賛助会員について

【令和6年度 賛助会員状況】

＊令和7年3月末日現在〔個人会員 101名・法人会員 43社 計144名〕

《 理事会 》

* 第 1 回 定時理事会

1. 日 時 令和 6 年 5 月 13 日（月曜日）午後 1 時から
 2. 場 所 ホテル札幌ガーデンパレス 4 階 平安
札幌市中央区北 1 条西 6 丁目
 3. 決議事項 第 1 号議案「令和 5 年度事業報告」の承認について
第 2 号議案「令和 5 年度決算報告及び監査報告」の承認について
第 3 号議案 評議員の招集の確認について
 4. 提案事項 1. 評議員及び監事の候補者案決定及び同案の評議員会への提案
2. 理事候補者案決定及び同案の評議員会への提案
 5. 報告事項 1. 代表理事の職務の執行の状況の報告
- 以上をもって議案の審議等を終了したので、議長は午後 2 時 00 分閉会を宣した。

* 臨時理事会の書面決議

理事会の決議があったものとみなされた事項の内容

議案内容

(1) 提案事項

令和 6 年度臨時理事会招集及び書面決議の開催

(2) 決議事項

第 1 号議案 臨時評議員会招集の決定及び当該評議員会の書面決議の開催

第 2 号議案 評議員候補者案の決定及び同案の当該評議員会への提案

理事会の決議があったものとみなされた事項の提案者

理事長 土屋 昌三

理事会の決議があったものとみなした日

令和 6 年 7 月 5 日

* 臨時理事会の書面決議

理事会の決議があったものとみなされた事項の内容

議案内容

(1) 提案事項

令和 6 年度 評議員会の招集について

(2) 決議事項

第 1 号議案 令和 6 年度 補正収支予算について

第 2 号議案 令和 7 年度 事業計画及び収支予算について

(3) 報告事項

理事長の職務の執行の状況の報告

理事会の決議があったものとみなされた事項の提案者

理事長 土屋 昌三

理事会の決議があったものとみなされた日

令和7年2月21日

*** 第2回 定時理事会**

1. 日 時 令和7年3月17日（月曜日）午前11時から

2. 場 所 ホテル札幌ガーデンパレス 4階 高砂

札幌市中央区北1条西6丁目

3. 報告事項

①理事長の職務の執行の状況の報告

②第29回小中学生による「安全・快適アイディア」コンテスト結果報告

③令和6年度「福祉住宅建築助成支援事業」結果報告

4. 決議事項 第1号議案「令和6年度収支補正予算」の件

第2号議案「令和7年度事業計画及び収支予算」の件

第3号議案「評議員の招集」の件

第4号議案「福祉住宅等建築助成に関する規程改正」の件

以上をもって議案の審議等を終了したので、議長は午後0時00分閉会を宣した。

《 評議員会 》

*** 第1回 定時評議員会**

1. 日 時 令和6年6月4日（火曜日）午後1:00～

2. 場 所 ホテルガーデンパレス 4階 平安

札幌市中央区北1条西6丁目

3. 決議事項

第1号議案「令和5年度事業報告」について

第2号議案「令和5年度決算報告及び監査報告」について

第3号議案「評議員10名及び監事2名の任期満了に伴う選任」について

第4号議案「役員理事2名退任に伴う後任者選任」について

4. 報告事項

1. 代表理事の職務の執行の状況の報告

以上をもって議案の審議等を終了したので、議長は午後2時00分閉会を宣した。

*** 臨時評議員会の書面決議**

評議員会の決議があったものとするみなされた事項の内容

議案内容

(1) 提案事項

令和 6 年度臨時評議員会招集及び書面決議の開催

(2) 決議事項

第 1 号議案 評議員退任に伴う後任評議員選任

評議員会の決議があったものとみなされた事項の提案者

理事長 土屋 昌三

評議員会の決議があったものとみなした日

令和 6 年 7 月 8 日

*** 第 2 回 定時評議員会**

1. 日 時 令和 7 年 3 月 17 日（月曜日）午後 1：30～

2. 場 所 ホテルガーデンパレス 4 階 高砂

札幌市中央区北 1 条西 6 丁目

3. 報告事項

①理事長の職務の執行の状況の報告

②第 29 回小中学生による「安全・快適アイディア」コンテスト結果報告

③令和 6 年度「福祉住宅建築助成支援事業」結果報告

4. 決議事項 第 1 号議案「議長及び議事録署名人の選出」の件

第 2 号議案「令和 6 年度収支補正予算」の件

第 3 号議案「令和 7 年度事業計画及び収支予算」の件

以上をもって議案の審議等を終了したので、議長は午後 2 時 30 分閉会を宣した。

以上